報第２６号

株式会社じょんのび村協会経営状況報告書

令和４年（２０２２年）９月５日提出

柏崎市長　櫻　井　雅　浩

令和４（２０２２）事業年度
事業計画及び予算

第３２期営業計画

基本方針

新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しく先行き不透明な状況が続いてきましたが、いよいよ旅行需要も回復が見込まれ始めました。これまで準備してきたことを発揮し、黒字化に向けた経営基盤を確立させてまいります。

温泉入浴については、評価の高い泉質のＰＲを高め、積極的に情報発信を行い、地域・常連客の憩いの場としての機能を維持するとともに、新規利用者の獲得を目指します。また、各種イベントの実施によりじょんのび村への来館者数を増やし、温泉のリピーター獲得につなげます。

宿泊については、企画の幅を広げ、多様なニーズにお応えするプラン造成に努めます。団体ツアーや専門ツアーの実施、春の田植えと秋の稲刈りをセットにした季節型循環ツアーの造成も行います。販路としても自社ホームページ・OTA（Online Travel Agent）・旅行代理店等、様々なルートから誘引いたします。

飲食においては、コロナ以前のような大型宴会の需要は戻りづらいことを考慮し、小規模でも御利用いただけるプランを造成することで、様々なニーズにお応えできるよう対応してまいります。また、飲食の収入源を増やすべく、囲炉裏ダイニング『銀兵衛』の再オープンを視野に入れ、新たなレストラン事業の展開を計画します。クラウドファンディングによって支援を集め、応援の声を形にすることで、地域の皆様とともに再開を目指します。

以上を踏まえ、次のとおり基本方針を定め、営業強化はもちろんのこと、経営基盤の安定化を目指し努力してまいります。

基本方針項目

事業理念

顧客のために～。

- お客様の役に立つことを考えよう -

地域のために～。

- 交流・連携して、活性化へ -

未来のために～。

- 持続可能な事業に取り組もう -

ありたき姿

「また来たい・もっと居たい」＋「行ってみたい・誘ってみたい」

●収支の健全化

令和５年度における黒字化

●地域観光の牽引

柏崎市周辺地区への観光促進

●後継者・従業員の育成

未来・子供たち・働く方に残す持続事業

収支予算

（単位：千円）

	年間計
売上合計	200,000
入館料	29,300
宿泊	55,500
飲食	60,500
売店	46,100
ボディケア	3,100
その他	2,400
製造収入	3,100
売上原価	60,000
販売管理費	147,959
支出合計	207,959
経常損益	40
営業損益	▲ 7,959
営業外損益	8,000

（単位：千円）

	上期計
売上合計	120,000
入館料	17,800
宿泊	36,400
飲食	33,500
売店	27,700
ボディケア	1,700
その他	1,200
製造収入	1,700
売上原価	36,000
販売管理費	71,023
支出合計	107,023
経常損益	20,976
営業損益	12,977
営業外損益	8,000

（単位：千円）

	下期計
売上合計	80,000
入館料	11,500
宿泊	19,100
飲食	27,000
売店	18,400
ボディケア	1,400
その他	1,200
製造収入	1,400
売上原価	24,000
販売管理費	76,935
支出合計	100,935
経常損益	▲ 20,935
営業損益	▲ 20,935
営業外損益	0

（注意）端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

取組計画

春		夏	
４月	じょんのびマルシェ OPEN	７～９月	じょんのビアガーデン
５月	GW じょんのび３０祭 田植え体験ツアー バスツアー 「銀兵衛」クラウドファンディング	７月	ハワイフェス ぎおん柏崎まつり海の大花火大会
		８月	アジアフェス 長岡花火大会ツアー こども自然王国コラボ夏休み施策
６月	キックボードアクティビティ 黒姫山ハイキングプラン ワーケーション企画 ファームハウスエリア開拓	９月	地産地消イベント 稲刈りツアー 自然観察ツアー
秋		冬	
１０月	半日営業日新設	１月	雪国体験ツアー
１１月	秋祭り	２月	テントサウナイベント 高柳雪まつり「YOU・悠・遊」への参画
１２月	つり橋イルミネーション	３月	春空イベント

【４月】

じょんのびマルシェ OPEN

「季菜市（ときないち）」として委託販売を実施していた屋外スペースにて、土・日・祝日限定でマルシェを開催し、自社販売に切り替えました。ファームハウス周辺では『じょんのびファーム』として農作業も始め、採れた野菜をマルシェで販売するとともに、御宿泊のお客様にも野菜の収穫体験をしていただけるよう準備し、滞在時の付加価値を高めます。

【５月】

GW じょんのび３０祭

じょんのび村３０周年を記念した各種イベント（人力車・VR バンジー・銀兵衛スペイン料理提供等）を実施し、目標１，０００万円に対して、売上１，１００万円を達成しました。長引くコロナ禍をようやく脱し、多くのお客様に御来場いただきました。

田植え体験ツアー

首都圏のお客様をターゲットとして田植え体験ツアーを企画し、馬を使った代掻き・手作業の田植えイベントを行いました。田植えを体験されたお客様がまた秋の収穫時期に来訪する季節循環ツアーを造成し、毎年恒例ツアーとして今後実施していきたいと思います。

バスツアー
　仙台からの団体旅行バスツアーを催行し、日帰り温泉と料理をお楽しみいただきました。今後は積極的にバスツアー造成も行ってまいります。

「銀兵衛」クラウドファンディング
　現在は使われなくなった囲炉裏ダイニング「銀兵衛」をクラウドファンディングにより資金調達し、修繕費用に充てます。設備を改修後、レストランの再開を目指します。

【６月】
キックボードアクティビティ
　敷地内外を移動できるキックボードの貸出しを行い、周辺観光地への自由散策を可能にします。

黒姫山ハイキングプラン
　ハイキング弁当と入浴をセットにしたハイキングプランの販売を開始しました。旅行会社へも営業をかけ、平日宿泊も可能なアクティブシニア層に向けて打ち出します。

ワーケーション企画
　新潟県が実施するワーケーション事業に参画し、指導事業者とともに推進します。自然の中に身を置くことで心も身体もリフレッシュできるワーケーションツアーを企画します。

ファームハウスエリア開拓
　環境を整備し、新たに芝を植え、ファームハウスに御宿泊されていない方でも訪れたくなる新たな遊び場を創造します。

【７月】
じょんのビアガーデン（７～９月）
　レストラン横の空きスペースを活用し、ビアガーデンを実施します。

ハワイフェス
　フラダンスショーやハワイアン料理のケータリングを提供します。

ぎおん柏崎まつり海の大花火大会（７月２６日）
　花火客の受け入れを行います。

【８月】
アジアフェス
　ベトナム料理・タイ料理等が出店します。

長岡花火大会ツアー（８月２日）
　旅行会社にて貸切りツアーを実施します。

こども自然王国コラボ夏休み施策
　子供は王国で遊び、大人はじょんのび温泉でゆっくりするコラボパッケージを造成し、首都圏からの集客に努めます。

【９月】
地産地消イベント
　地元の店とタイアップし、地産地消を味わうイベントを開催します。

稲刈りツアー
　５月に田植えを実施した田んぼの稲刈り体験ツアーを企画し、首都圏からの集客に努めます。

自然観察ツアー
　自然観察ガイド佐々木洋さんと行く大人の自然体験ツアーを旅行会社にて商品化し、周辺地域の観光や体験も含む新たな取組を行います。

【１１月】
秋祭り実施

【１２月】
つり橋イルミネーション

【１月】
雪国体験ツアー

【２月】
テントサウナイベント
高柳雪まつり「YOU・悠・遊」への参画

【３月】
春空イベント

令和３（２０２１）事業年度
決算に関する書類

第３１期営業報告

１　営業概況

営業経過及び実績

第３１期は１０月から新体制となり、経営再建を試みました。新たな視点から日々の運営を見直し、余分なコストの削減、人手不足のオペレーション状況の把握、業務の脱属人化やDXの観点から改善を図りました。また、経営改善のためのシステムや設備改修費用を生み出すべく、イベント等を実施し手元資金を捻出しました。特に、売上が減少する冬季期間においても新たなコンテンツを創造し、メディア露出やSNSにおけるプロモーションへ注力することで、若い層を中心とした新型コロナウイルス感染症の状況に左右されづらいアクティブ層へアプローチをいたしました。

しかし、コロナ禍の厳しい状況は続き、期待されていたGoToトラベルは延期、宴会利用の激減、令和４年１月２１日から３月６日までのまん延防止等重点措置期間は営業縮小やイベントの延期を余儀なくされました。

また、施設内の環境整備においては予想以上に時間がかかり、年度内に計画実施すべきものが、年度をまたいでしまった事案もありました。一方、予約管理や会計システムの新規導入などは確実に進んでおり、経営指針を決定する上で重要となる細かいデータの抽出も可能となりました。

以上を踏まえた結果、年間利用者数は５９，４３７人(前年比１５１％)、総売上は１億１，００７万円(前年比１５２％)となりましたが、売上が計画比７７％に留まってしまったことに加え、燃料費の価格高騰や次年度以降の環境整備等への投資額がかさみ、経常損益▲２，５４０万円、営業損益▲３，９７１万円となりました。

大変厳しい結果となりましたが、県内外から御利用いただきました多くのお客様を始め、株主及び地域住民の皆様や柏崎市の御理解と御支援に深く感謝申し上げます。

売上、利益実績等は、次表以下に記載いたします。

第３１期実績

（単位：千円）

	年間計
売上合計	110,079
入館料	18,079
宿泊	27,433
飲食	33,327
売店	24,279
ボディケア	4,156
その他	2,802
売上原価	33,591
販売管理費	116,199
支出合計	150,101
経常損益	▲ 25,409
営業損益	▲ 39,712
営業外損益	14,302

（単位：千円）

	上期計
売上合計	50,500
入館料	8,551
宿泊	14,398
飲食	14,167
売店	10,065
ボディケア	1,865
その他	1,452
売上原価	14,538
販売管理費	50,216
支出合計	64,886
経常損益	▲ 5,556
営業損益	▲ 14,254
営業外損益	8,698

（単位：千円）

	下期計
売上合計	59,578
入館料	9,528
宿泊	13,035
飲食	19,159
売店	14,213
ボディケア	2,291
その他	1,350
売上原価	19,053
販売管理費	65,983
支出合計	85,215
経常損益	▲ 19,853
営業損益	▲ 25,457
営業外損益	5,604

（注意）端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

	萬歳楽		ファームハウス	
	利用室数	稼働率	利用棟数	稼働率
４月	60	21.98%	9	6.12%
５月	81	28.32%	33	21.43%
６月	54	24.43%	10	8.40%
７月	128	37.87%	61	33.52%
８月	152	44.97%	72	39.56%
９月	46	32.17%	13	16.88%
１０月	136	49.82%	23	15.65%
１１月	168	58.74%	23	14.94%
１２月	115	38.46%	28	17.39%
１月	82	28.67%	15	71.43%
２月	47	19.03%	0	0.00%
３月	91	31.82%	10	6.49%
計	1,160	35.41%	297	19.83%

	入浴		食事		宴会		土産物		施設利用計	
	今期	前年度比	今期	前年度比	今期	前年度比	今期	前年度比	今期	前年度比
４月	2,592	204%	613	195%	18	129%	1,233	151%	4,456	185%
５月	3,503	－	825	－	22	－	1,811	－	6,161	－
６月	2,253	－	503	－	7	－	1,036	－	3,799	－
７月	3,121	92%	679	72%	44	183%	1,394	86%	5,238	88%
８月	3,335	93%	732	91%	6	16%	1,445	86%	5,518	91%
９月	1,814	59%	418	53%	16	40%	843	61%	3,091	58%
１０月	3,294	108%	845	96%	29	50%	1,644	94%	5,812	101%
１１月	3,375	113%	864	108%	103	68%	1,819	109%	6,161	110%
１２月	2,904	153%	488	77%	251	534%	1,652	153%	5,295	145%
１月	3,073	585%	672	665%	38	633%	1,280	552%	5,063	586%
２月	2,445	－	481	－	10	－	972	－	3,908	－
３月	2,874	140%	692	135%	92	256%	1,277	117%	4,935	134%
計	34,583	158%	7,812	135%	636	154%	16,406	145%	59,437	151%

参考（業績の推移）

（単位：千円）

区分	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
売上高	233,224	229,632	225,059	236,357	222,623	209,301	193,330	179,292	72,507	110,079
原材料費	88,380	85,623	86,330	86,747	84,698	82,113	75,291	70,235	22,871	33,591
売上総利益	144,844	144,009	138,730	149,609	137,926	127,188	118,039	109,057	49,637	76,488
販管費	147,005	146,303	150,402	152,245	151,197	145,794	136,126	136,888	78,011	116,199
営業損益	▲2,162	▲2,293	▲11,673	▲2,636	▲13,272	▲18,606	▲18,087	▲27,831	▲28,374	▲39,712
営業外損益	3,504	3,657	3,807	3,076	2,421	2,324	2,725	3,180	22,318	14,302
経常損益	1,343	1,364	▲7,866	440	▲10,850	▲16,282	▲15,361	▲24,651	▲6,056	▲25,409
当期損益	1,015	1,074	▲8,156	150	▲9,597	▲16,572	▲15,654	▲24,941	▲6,346	▲25,699

（注意）端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

２　会社の概況

⑴　株式の状況

ア　会社が発行する株式の総数　４，０００株

イ　発行済株式の総数　１，２２１株

ウ　当期末株主数　２４１人

エ　大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
柏崎市	666	54.55%
㈱小林組	32	2.62%
㈱村田組	23	1.88%
㈱植木組	20	1.63%
柏崎農業協同組合	17	1.39%
米山建設㈱	17	1.39%
大高建設㈱	17	1.39%
㈲永井工務店	17	1.39%
石塚酒造㈱	16	1.31%

⑵　従業員の状況

業務	従業員数
フロント・施設管理	社員：２人　パート：１５人
調理・フロア	社員：３人　パート：８人
売店・製造	社員：１人　パート：２人
人事労務・庶務・経理	社員：２人　パート：２人
計	社員：８人　パート：２７人

⑶　取締役及び監査役

会社における地位	氏　　名	担当又は主な職業
代表取締役	吉　村　英　治	㈱じょんのび村協会常勤取締役
取締役	根　来　勇　人	㈱ワールドコンパス代表取締役
取締役	政　金　克　芳	社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会理事長
監査役	大　倉　正　大	高柳地区連合会会長

⑷　代表取締役に支払った報酬

区分　支給人数	支給額	摘要
取締役　２人	5,139,996 円	代表取締役報酬
計	5,139,996 円	

⑸　株主総会・取締役会

期日	議　　件　　等
株主総会 令和３年６月 29 日	１　第３０期営業報告の件 ２　第３０期貸借対照表、損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件
臨時株主総会 令和３年９月 21 日	１　取締役、監査役の選任について ２　取締役、監査役の報酬等について

期日	議　　件　　等
取締役会 令和３年４月 21 日	１　第３０期決算概算報告 ２　第３１期営業計画の検討
取締役会 令和３年４月 30 日	１　村長（社長）募集状況について（柏崎市産業振興部商業観光課） １回目の公募結果報告と２回目募集の実施予定
取締役会 令和３年５月 19 日	１　柏崎市二役との協議内容の報告 ２　第３０期決算監査結果の報告
取締役会 令和３年５月 27 日	１　経営体制について 柏崎市産業振興部長、商業観光課との協議
取締役会 令和３年６月３日	１　第３０回定時株主総会議案の承認

期日	議　　件　　等
取締役会 令和３年６月 29 日	１　代表取締役の選任 代表取締役に永井基栄を選任
取締役会 令和３年８月６日	１　経営状況報告 ２　２回目村長（社長）募集について
取締役会 令和３年９月６日	１　臨時株主総会議案の承認 ２　経営状況報告
取締役会 令和３年 10 月１日	１　代表取締役の決議 ２　取締役の報酬配分の件 ３　監査役の報酬配分の件
取締役会 令和３年 12 月５日	１　経営・業務報告 ２　人員・スタッフ面談状況報告
取締役会 令和４年２月 19 日	１　事業運転資金借り入れの件、決議承認 ２　経営・業務報告
取締役会 令和４年３月５日	１　経営・業務報告 ２　就業規則変更の承認

⑹　営業施策

次の営業施策を実施することにより、コロナ禍かつ冬季期間のうちに第３２期へ向けた準備を整えました。

■土産物処リニューアルオープン

コロナ禍かつ人員不足により、フロント横で縮小営業を続けてきた土産物処を以前の場所へ戻し、仕入れ商品・価格・ディスプレイの見直しを行いました。また、館内外から２つの入口を設置し、集客増を図りました。その結果、令和３年１１月２７日リニューアルオープン後、１２月は売上１５３％に伸びました。しかしながら、その後まん延防止等重点措置期間が始まり、売上は厳しい状況が続きました。

■つり橋イルミネーション設置

「じょんのび村のクリスマス」と題して、施設の象徴でもあるつり橋に手作りでイルミネーションを設置。集客が難しい冬季期間の新たな見どころとして、地元の方の御協力の下、新たなスポットが誕生しました。クリスマスマーケットとして、土曜・日曜を中心に屋外でホットワインやソーセージ等も販売し、その様子を SNS で拡散いたしました。「テレビ新潟」の生放送でも御紹介いただき、新たな収入源となりました。

■春空イベント実施

２月の３連休に実施を予定していた冬空イベントは、まん延防止等重点措置の影響により３月の３連休に延期。春空イベントとして実施することができ、じょんのび村の空に気球やランタンを飛ばしました。夏に比べて利用率が下がる冬を盛り上げるべく、写真映えする企画で、若いお客様層にアプローチしました。

■産学連携協定締結

令和４年３月１０日、地域観光発展のため、新潟産業大学様とじょんのび村にて連携協定を締結いたしました。今後は学生のインターンシップを受け入れるほか、スタッフの採用、イベントの共同開発、大学生の学び場としてのじょんのび村の活用、若者を中心としたデジタルマーケティング等を実施していきます。地域との連携を強め、人手不足も補完する狙いです。

■DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

ペーパーレス化を進め、台帳管理や回覧板を廃止し、イントラネットを整備しました。一方、お客様の目に触れる紙パンフレット等は、視認性の高いクオリティにて内製化を進めました。また、他社システムに利用料金を支払っていた予約関係の導線を見直し、直販予約率を向上させました。土産物処にも在庫管理システムを導入し、仕入・販売状況の把握、発注のシステム化を可能にしました。また、レストランは食券機の導入により人員を削減でき、オペレーションの効率化につながっております。

主な DX 推進内容は、以下となります。

- 社内メールシステム導入
- ホームページリニューアル
- 宿泊管理システム導入
- 直販予約システム導入
- 食券機導入
- 売店在庫管理システム導入

貸借対照表

令和４年３月３１日現在

（単位：円）

資産の部

【流動資産】		
現金･預金	43,018,071	
売掛金	2,517,431	
商品	2,373,257	
貯蔵品	1,148,603	
仮払金	15,500	
未収入金	506,922	
流動資産合計		49,579,784
【固定資産】		
【有形固定資産】		
建物附属設備	311,274	
設備造作	1	
機械装置	395,734	
車両運搬具	3	
工具器具備品	2,369,091	
一括償却資産	446,600	
有形固定資産合計	3,522,703	
【無形固定資産】		
電話加入権	291,200	
無形固定資産合計	291,200	
【投資その他の資産】		
出資金	30,000	
保証金	500,000	
投資等合計	530,000	
固定資産合計		4,343,903
資産の部合計		53,923,687

負債の部

【流動負債】		
買掛金	2,715,169	
短期借入金	10,000,000	
未払費用	10,231,850	
前受金	287,053	
預り金	1,086,700	
納税引当金	290,000	
未払消費税	612,100	
流動負債合計		25,222,872
【固定負債】		
長期借入金	40,000,000	
固定負債合計		40,000,000
負債の部合計		65,222,872

純資産の部

【株主資本】		
資本金	61,050,000	
資本剰余金		
資本準備金	56,700,000	
資本剰余金合計	56,700,000	
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	7,000,000	
繰越利益剰余金	▲ 136,049,185	
その他利益剰余金合計	▲ 129,049,185	
利益剰余金合計	▲ 129,049,185	
株主資本合計		▲ 11,299,185
純資産の部合計		▲ 11,299,185
負債及び純資産合計		53,923,687

損益計算書

自　令和３年４月　１日
至　令和４年３月３１日

（単位：円）

経常損益の部

【営業損益の部】		
【営業収益】		
売上高		110,079,196
【営業費用】		
【売上原価】		
期首商品棚卸高	1,982,535	
当期商品仕入高	33,982,719	
合計	35,965,254	
期末商品棚卸高	▲ 2,373,257	
売上原価		33,591,997
売上総利益		76,487,199
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		116,199,418
営業利益（損失）		▲ 39,712,219
【営業外損益の部】		
【営業外収益】		
受取利息	784	
受取配当金	600	
雑収入	14,631,964	
営業外収益合計		14,633,348
【営業外費用】		
支払利息	309,911	
雑損失	21,000	
営業外費用合計		330,911
経常利益（損失）		▲ 25,409,782
税引前当期純利益（損失）		▲ 25,409,782
法人税等充当金		290,000
当期純利益（損失）		▲ 25,699,782

販売費及び一般管理費内訳書

自　令和３年４月　１日
至　令和４年３月３１日

（単位：円）

役員報酬	5,139,996
給料手当	18,900,977
雑給	18,650,090
法定福利費	4,882,927
厚生費	526,981
荷造発送費	853,853
広告宣伝費	2,729,308
交際費	96,035
会議費	133,874
通信費	343,012
消耗品費	5,273,410
リネン費	2,589,597
電気料	12,408,824
水道料	2,223,345
燃料料	13,339,292
ガス料	2,572,167
車両費	1,165,609
事務用消耗品費	348,249
諸会費	229,835
支払手数料	3,882,854
新聞図書費	127,612
管理費	6,452,390
支払保険料	737,798
支払報酬	547,000
寄付金	9,000
研修費	255,443
修繕費	1,226,186
減価償却費	902,445
地代家賃	20,000
賃借料	3,416,884
租税公課	275,846
雑費	3,045,116
委託料	2,893,463
販売費及び一般管理費合計	116,199,418

株主資本等変動計算書

自　令和３年４月　１日
至　令和４年３月３１日

（単位：円）

	株　主　資　本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	61,050,000	56,700,000	56,700,000	7,000,000	▲ 110,349,403	▲ 103,349,403	14,400,597	14,400,597
当期変動額								
当期純損益					▲ 25,699,782	▲ 25,699,782	▲ 25,699,782	▲ 25,699,782
当期変動額合計					▲ 25,699,782	▲ 25,699,782	▲ 25,699,782	▲ 25,699,782
当期末残高	61,050,000	56,700,000	56,700,000	7,000,000	▲ 136,049,185	▲ 129,049,185	▲ 11,299,185	▲ 11,299,185

個別注記表

自　令和３年４月　１日
至　令和４年３月３１日

Ⅰ　この計算書は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

Ⅱ　重要な会計方針に係る事項に関する注記

１　棚卸資産の評価基準及び評価方法
　最終仕入原価法

２　固定資産の減価償却の方法
　①　有形固定資産
　　法人税法の規定に基づく定率法

３　その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
　①　消費税等の会計処理
　　消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

４　その他の注記
　有形固定資産の減価償却累計額　４２，２８８，６７２円

Ⅲ　株主資本等変動計算書に関する注記
　当該事業年度の末日における発行済み株式の数　１，２２１株